

母校の音大で説明会

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は5月7日（火）に洗足学園音楽大学卒業生であり現在、航空自衛隊西部航空音楽隊所属の高梨空士長が帰郷した際、母校説明会に同行支援した。目的は音楽職種希望学生に対し自衛隊の魅力や音楽職種の女性自衛官から学生に体験談を交え分かりやすく説明してもらうためであり、担当の三浦広報官が学校キャリアアセンダー担当者として日程調整を行い実現に至った。

昼休みを利用した説明会に参加した学生は男女8名、まず広報官が制服姿である高梨空士長の経歴等を紹介して、高梨空士長が日常生活や体験談を説明し、次いで学生からの質問に應對する会話形式で行われた。

高梨空士長は自衛官候補生で入隊し2任期継続し現在4年目であり終始明るく堂々とした面持ちで学生に語り掛け、自衛隊に興味を示したのが日本武道館での自衛隊音楽まつりであったことや新隊員前期教育での匍匐前進や実弾射撃の体験及び同期と乗り越えた苦勞話、音楽隊に配属になり各地を輸送機で回り音楽演奏に行ったことなど学生の関心のある内容を自己体験に基づき熱心に語っていた。

学生からは多くの質問があり「人間関係はどうですか」との質問には、「先輩や同僚と先日『博多どんたく』に行ってきましたよ、職場の仲間とはよく出かれます」と楽しそうに語り、また1任期満了の際に特別退職金を貰った話では「そんなに貰えるのですか?」と興味を持った学生に給料面や福利厚生の魅力や十二分に伝えていた様子が印象的であった。

限られた時間であったが、最後に音楽要員になるためには陸海空の音楽隊で毎年行われる職種説明会と自衛官採用試験があることを話して、高梨空士長自身もキャリアアップして空曹になるために現在努力していることを学生に伝え説明会はあっという間に終了となった。

溝の口募集案内所は「部隊の隊員と一体となり長期休暇を利用して母校訪問に対する支援をお願いし、学校関係者と調整し相互に信頼を築きあげながら今後も多くの学生に自衛隊の理解を深め自衛隊の魅力や分かりやすく説明できるように担当区それぞれの学校において努力していく」としている。



説明会での様子（左・高梨空士長 右・三浦広報官）

「相模原市民若葉まつり」で自衛隊をPR

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻一陸尉）は、5月11日（土）・12日（日）、相模原市が主催する「相模原市民若葉まつり（相模原市中央区）」に参加し、相模原地域自衛官募集相談委員会及び陸上自衛隊第4施設群の協力を得て、募集相談ブースを開設し、相談員、第4施設群隊員及び広報官による募集広報活動を実施した。

自衛隊ブースでは、1/2トトラックの展示やちびっ子迷彩服の試着を行い、子供たちの長蛇の列ができるなど、大いに賑わいを見せた。

また、神奈川地本のキャラクター「たま」も出動し、今回から開催された「ゆるキャラ大会」に参加し、記念写真撮影を行う等、地域住民との交流を図った。

広報官の熱意ある募集広報及び各種活動とあいまって、募集対象者の有力情報を獲得することができた。相模原地域事務所は、「今後も、地域イベントの機会を活用して市民に密着した広報活動を行ない、自衛隊に対する理解促進に努めていきたい」としている。



相模原市の「さがみん」（左）と岩手県大船渡市の「おおふなトン」（右）と「たま」の写真撮影会



エフエムさがみと「たま」の写真撮影会



愛嬌をふりまく「たま」